www.samukawajinjya.jp

相模

第512号
平成30年4月1日

巻頭特集

彬子女王殿下御台臨
彬姫櫻植樹

SAGAMI

相模 Contents

巻頭特集 彬子女王殿下御台臨 ―彬姫櫻植樹― 2
社頭動静 4
平成29年度 顕彰受彰者芳名 6
節分祭福物協賛者芳名 7
新嘗祭奉納者芳名（訂正） 7
利根康教宮司 神職身分特級に昇級 8
権宮司就任挨拶・禰宜就任挨拶 9
平成30年度 宮山総代ご紹介・人事 10
寒川俳壇・相模詠草 11
青少年だより・病院だより 12
天皇陛下御即位30年記念事業 東儀秀樹コンサート開催案内 13

神嶽山神苑（かんたけやましんえん） 開苑

～ 春の訪れから新緑への誘い ～

難波の小池を中心とした
森厳な杜に形成された
池泉回遊式日本庭園
季節のお菓子とお抹茶で
おもてなしする茶屋「和楽亭」
八方除に関する資料を展示した
「方徳資料館」
どうぞ神苑にて和やかな
ひと時をお過ごしいただき
大明神様との御神縁を
お深めください

開苑期間 3月上旬～12月13日

開苑時間 午前9時～午後4時
毎週月曜日休苑（祝祭日は開苑）

神楽舞と雅楽

苑内石舞台にて神楽舞と雅楽の演奏
4月15日(日)　午前11時・午後2時
4月29日(日・祝)　午前11時・午後2時

以降の予定は決定次第
ホームページにてお知らせします（雨天時中止）

茶屋 和楽亭

季節のお菓子とお抹茶でおもてなし
午前9時30分～午後3時30分まで
（午後3時受付終了）
拝服料500円より思し召し

●神嶽山神苑への入苑は御祈祷を受けた方に限ります。

水無月大祓式のご案内

6月30日(土)午後2時より、水無月大祓式並びに茅の輪神事が古式に則り斎行されます。どなたでもご参列頂けますが、当日のご参加が叶わない方は、郵送でのお申込みを承っております。

今回新たに郵送でのお申込みをご希望の方は、ご案内状をお送り致しますので、下記までお問合わせください。

是非この機会にお申込み頂き、心身ともに清まりお健やかにお過ごしください。

お問合せ 寒川神社 大祓係
TEL.0467(75)0004㈹／FAX.0467(75)9595
※FAXにてお問合せの際は、**住所・氏名・電話番号・人形の必要枚数**を明記願います
案内状は5/20以降順次発送致します

年参講奉納演芸大会

4月8日(日) 正午～夕刻

宮山総代並びに氏子の皆様による、奉納演芸大会が開催されます。
皆様のご来社をお待ちしております。

■第1部　歌謡ショー
■第2部　舞踊ショー

於 寒川神社境内特設会場
（雨天時は寒川神社少年館）

國府祭 御神幸時間のお知らせ

夏の「浜降祭」と併せ、当神社の二大神幸祭の一つ「國府祭」が5月5日（土・こどもの日）に中郡大磯町国府の神揃山ほかにて斎行されます。

本年は、天皇陛下御即位30年を奉祝して、各社の本神輿も出御し賑々しく佳節をお祝い申し上げます。

新緑まぶしいこの季節に是非足をお運び頂き、古式床しい神事を間近でご覧ください。

なお、本神輿の出御に伴い、神幸時間が例年とは異なりますので下記をご参照願います。

神幸時間表：5月5日(土)

6:30 諸員参集
6:50 遷霊祭
7:40 発輿祭
7:50 社頭発輿
9:00 平塚通過
10:30 神揃山祭
12:00 古式「座問答」
13:20 神揃山発輿祭
13:30 神揃山発輿
14:30 大矢場着御
15:10 神対面の儀
15:20 国司奉幣の儀
15:25 裁許の儀
15:30 大矢場発輿
19:00 社頭還幸

※社頭還幸時間は道路状況により大幅に前後する事もあります。

祭典と行事のご案内

4月

1日～10日　第48回学齢児図画展
1日　9時30分　少年館入館奉告祭
10時　少年館入館式
7日・8日　宮山年参講大祭
8日　正午　年参講奉納演芸大会
29日　8時30分　昭和祭

5月

3日　BS寒川第2団 ボーイスカウトまつり
5日　國府祭

6月

30日　14時　水無月大祓式　茅の輪神事

毎月

1日・20日　月次祭

彬子女王殿下御台臨 彬姫櫻植樹

12月21日、彬子女王殿下御台臨の下、彬姫櫻の植樹式が挙行されました。
この植樹は、天皇陛下御即位30年目の佳節を奉祝し計画している
記念事業の一環として行われたもので、正に「宝」を頂いた日となりました。
彬姫櫻は、平成28年に奉納された「さざれ石」（国旗掲揚塔脇）に
寄り添うように植樹され、御参拝の皆様に春の到来をお知らせします。

鎮守の杜

日本は、世界の先進国の中でも「緑が非常に多い国」であるとされ、それは神社の存在によるところが大きいともいわれています。全国各地の神社には、その規模こそ異なるものの、御神域を包み込むように「緑」が存在します。いわゆる「鎮守の杜」です。我々日本人は、悠久の昔から、この鎮守の杜を大切に守り続け、信仰の対象としてきました。

当神社にも鎮守の杜が存在し、古くより地域の皆様に愛され、参拝に訪れる方々の心を癒やしてきました。その中で、豊かな杜を維持・継承していくため、そして御参拝の皆様に一層清々しくお過ごしいただくために種々の整備事業を実施し、平成21年には寒川大明神様との御神縁を深めて頂く場所として「神嶽山神苑」を開苑しました。

新種のサクラ

神嶽山神苑の造営工事を手掛けたのは「植藤造園（京都市右京区）」で、その当主は代々、佐野藤右衛門の名跡を襲名し、現在は16代目を迎えています。第14代の頃より始めた、日本全国のサクラの保全活動を継承し、「桜守」として広く知られています。

その16代当主は、平成24年春、京都市右京区広沢池近くの苗圃にて、数ある十六夜桜の中から、花が一つだけ薄紅色で明らかに他のものとは違う桜を発見しました。これを新品種として、苗圃の所在地の地名から「音戸山桜」と名付け、翌年以降の開花に備えていました。この桜をとても好まれたのが彬子女王殿下だったのです。

[写真]
①スルメ※をお供えになる女王殿下
②お言葉を述べられる女王殿下
③少年館生よりお誕生日のお祝い
④拝礼される女王殿下
⑤地元園児らも歓迎
⑥浦安の舞
⑦彬姫櫻をモチーフに
⑧女王殿下とともに
　右から吉田庁長・利根宮司・田中総長
　中島宮司・佐野藤右衛門氏

※一般的に植樹式では、樹木の健やかな成長を願い、
　天の神様には「スルメ」、地の神様には「神酒」がお供えされます。

伝統文化を子どもたちへ

女王殿下は「日本の伝統文化が生き続けることができる土壌を形成したい」、そしてその核となる子どもたちに「本物の日本文化にふれる機会を提供したい」との思いで「心游舎」という団体を設立され、日本文化の素晴らしさに子どもたちが直接触れられるような活動を積極的に行われ、伝統文化の維持・継承に日々ご尽力頂いております。

平成27年にも当神社に御参拝頂き、少年館にて子どもたちのための辞書引きワークショップを開催。日本の未来を担う子供たちにとって、最も身近な文化である「言葉」の難しさ・楽しさに触れる良い体験をご提供頂きました。

命名「彬姫櫻」

予てより女王殿下は、植藤造園にお花見にご来園されていたようで、偶然にも前述の十六夜桜の新種が花を開いたその日にお越しになったため、新種のサクラの概要について佐野氏より女王殿下にご説明したところ、非常に気に入って頂けたとのことでした。そこで、佐野氏より新種のサクラの名称についてご提案し、女王殿下のお名前の一文字を入れた「彬姫櫻」と命名することを快くご了承頂いたのです。

彬姫櫻植樹

植樹式当日、彬子女王殿下は参集殿にて、彬姫櫻がデザインされた艶やかなお着物にお召し替えになり、第16代佐野藤右衛門様、神社本庁総長 田中恆清様（京都府・石清水八幡宮宮司）、明治神宮宮司 中島精太郎様、神奈川県神社庁庁長 吉田茂穂様（鶴岡八幡宮宮司）、茅ヶ崎市長 服部信明様をはじめとするご来賓並びに出席者とともに奉告祭に御参列頂きました。

その後、境内国旗掲揚塔脇の祭場にて彬姫櫻をお手植えになり、樹木の健やかな成長を願い、神酒とスルメをお供え頂きました。

植樹式終了後、参集殿で行われた記念式典では、女王殿下より「彬姫櫻は本当に美しい桜です。他の桜よりも早く咲くので、寒川神社にもいち早く春の到来を告げてくれることを期待します」とのお言葉を賜りました。

佐野藤右衛門氏による記念講演では、彬姫櫻発見に至る経緯から他の品種との相違点、そして命名のエピソードなど大変貴重なお話を頂きました。

直会の最後には、女王殿下知人のパティシエが彬姫櫻をモチーフに作ったデザートが出席者に振舞われ、彬姫櫻の開花を前に、早くも花満開のような華やかな一日となりました。

社頭動静

寒川さんの鈴の音

※鈴の音を「祈り」の象徴ととらえ、当神社の折々の出来事をその音に乗せて皆様にお伝えするという意味を込めました。

正月

平成30年戊戌歳を迎え、寒川大明神の八方除の御神徳を仰ぐ大勢の参詣者で境内は大いに賑わいました。三が日の参拝者数は約49万人（茅ヶ崎警察署発表）に上り、本年も多くの方が寒川大明神と共に新たな年をお迎えすることができました。

1月1日午前0時、神門に飾られた迎春ねぶたに灯が入れられ、境内を埋め尽くす参詣者から歓声が上がりました。おくぐり頂いた皆様の良き一年を祈念し取り付けている当神社のねぶたも「寒川の正月の風物詩」としてすっかり定着し、お陰様をもちまして18回目を迎えました。

今回は、現在の御社殿のお建て替えの竣功より数え、20年という大きな節目を迎えたことに因み、御社殿を題材にした特別なねぶた飾りが神門を彩り御参拝の皆様を出迎えました。例年とは趣の異なるねぶたとなりましたが、「本質は変化させることなく、次世代へと引き継ぐ」という思いも皆様にお伝えすることができました。またこの佳節を寿ぎ、拝殿内にも寒川大明神の広大無辺な御神威がさらに発揚するよう祈念したねぶたが特別に奉納されました。新年にあたり力強く光を放つねぶた飾りは、皆様の明るい一年をそっと照らしているように感じられました。

追儺祭

月明かりに照らされ静寂に包まれた幻想的な浄闇の中、年頭にあたりすべての邪気災厄を祓い除く寒川神社の特殊神事・追儺祭が1月2日午後8時、厳かに斎行されました。

寒川神社の信仰の根源である「難波の小池」から汲んだ清前と呼ばれる御神水を境内2ヵ所で撒き、「宝物かぞえ」と称した唱詞をとなえ、「水」と「音」によって境内全体を祓い清め、厄難の一掃を祈念しました。（追儺祭についての詳細は本誌第511号に掲載）

神事終了後、御神前に供えられた弓矢が、魔除けのお守りとして御参拝の皆様に頒布されました。

武佐弓祭

人日節（七草）の翌日（1月8日）、悪疫を退散させ一年の吉凶を占う武佐弓祭が、多くの参詣者が見守る中で斎行されました。

「甲・乙・ム」の3字が変形して組み合わさった「鬼」と書かれた古式の的に神職2人が向かい「千早振る 神の御前の武佐の的 悪魔を攘い 国ぞ治むる」という神歌を唱え、交互に3度矢を放ち、その矢の行先により一年の吉凶を占います。

神事終了後には、大的の両脇に付した麻が、安産や建築のお守りとして、御参拝の皆様に頒布されました。

本年の矢の当たり及び占卜結果は下記の通りです。

節分祭

立春の前日、邪気災厄を祓い福を呼び込む節分祭が、斎行されました。

本殿では先ず祭典が斎行され、福を招いて清々しく春を迎えるために追儺板を打ち鳴らして邪気災厄を祓い、その後境内の特設櫓にて豆撒きが行われました。本年は土曜日ということもあってか、例年以上に大勢の方が福を求めてお越しになり、境内は熱気に包まれました。

また、本殿前には小学生以下のお子

占卜結果

本年の前半は昨年に続き、経済・社会情勢は良好とは言い難い。しかし、本年の後半は、経済・社会情勢は共に好転すると思われる。

（武佐弓祭直会にて宮司発表）

［写真］ ①正月社頭風景
②武佐弓祭
③節分祭
④紀元祭 浦安の舞
⑤祈年祭
⑥参宮旅行 集合写真

様を対象に福豆の掴み取りができるコーナーが設けられ、こちらも大盛況。

一足早い春の訪れを感じられる一日となりました。

紀元祭 並 顕彰奉告祭

皇紀二六七八年を奉祝し、初代天皇・神武天皇による建国の大業を仰ぎ、皇室の御隆昌と国家の御安泰を祈念する紀元祭が、2月11日に斎行され、厳かな雰囲気の下、参列者と共に日本の建国をお祝い致しました。

またこの佳節に合わせ、当神社の発展に長年ご尽力頂いた方々を表彰する顕彰式が参集殿にて行われ、宮司より表彰状が授与されました。

受彰者の皆様の御芳名は6ページにて別途掲載しておりますので、ご覧ください。

受彰された皆様の益々のご活躍をお祈り申し上げます。

祈年祭 並 田打舞神事

耕作を開始するにあたり一年の農作物の豊かな稔りを祈念する祈年祭が2月17日に斎行されました。この祭典は、「春祭り」とも呼ばれ、豊作に感謝する秋の新嘗祭と並び、神社で斎行される祭典の中でも特に重要な位置づけの祭典です。（新嘗祭についての詳細は本誌第506号に掲載）

当神社の祈年祭では、秋の豊作への予祝神事として、翁の面をつけた社人と神職が、地謡と囃子を織り交ぜながら、土ならしから収穫までの一年を通じた米作りを模倣した舞を奉納する「田打舞神事」が御神前にて披露され、本年も五穀豊年が祈念されました。（祈年祭 並 田打舞神事についての詳細は本誌第507号に掲載）

日本人にとって「米」が如何に重要でありがたい存在であるかを改めて感じることができる祭典です。

伊勢参宮旅行

伊勢の神宮への参宮旅行は今回で42回目を迎え、62名の方にご参加頂きました。

本年は神宮のほか、出雲大社の御祭神でもある大己貴命（大国主命）を祀る三河國一之宮・砥鹿神社を正式参拝。悠久の自然の中で神様を五感で感じ、日本の伝統文化の素晴らしさを実感する旅行となりました。

「日本人の心のふるさと」を訪ねるこの旅行は、高座氏子総代会主催にて毎年行っておりますので是非ご参加ください。例年、12月上旬頃よりお申込みを承っております。

祭典・行事のご報告

1月

1日 八方除祭・元旦祈祷祭
〃 歳旦祭・末社歳旦祭
2日 追儺祭
3日 元始祭
8日 武佐弓祭
24日 神社庁相模湘南支部 初集会

2月

1日 （月次祭後）朝食会
3日 節分祭
10日 宮司神職身分特級昇級奉告祭
11日 紀元祭 並 顕彰奉告祭
〃 寒川神社顕彰式
17日 祈年祭 並 田打舞神事
24日 社務所改修工事清祓
25日 宮山神輿愛好会役員改選奉告祭

3月

4～6日 高座氏子総代会主催 第42回伊勢参宮旅行
21日 安藤由勝大人命伊集院直彦大人命他命等の慰霊祭
〃 末社御祖神社春季霊祭
〃 宮山役員改選奉告祭
28日 相模國式内社の会 巡拝会

毎月1日・20日 月次祭（元日は除く）

奉祝
皇紀2678年
（平成29年度）

寒川神社顕彰受彰者芳名

功労表彰受彰者6名（敬称略）

■多年に亘り講員一同参拝を重ね御神徳の宣揚に尽瘁された
墨東寒川講

■多年に亘り講員一同参拝を重ね御神徳の宣揚に尽瘁された
寒川神社易友会

■永年に亘り神恵苑運営委員等の役職を歴任し、神社の維持運営に貢献された
大川壽一

■永年に亘り寒川神社商工奉賛会役員等の役職を歴任し、神社の維持運営に貢献された
藤澤舜

■永年に亘り顧問をはじめ役職を歴任し、神社の維持運営に貢献された
藤田善三

■永年に亘り各種祭典に携わり、神社の維持運営に貢献された
長嶋喜満

感謝状受彰者 15名（敬称略）

■氏子総代として多年に亘り寒川神社の運営に協力された
石山繁雄
高橋進
吉田宗平

■元旦祈祷世話人として多年に亘り献身奉仕された
亀田博和

■永年に亘り各種祭典に携わり、神社の維持運営に貢献された
小菅昭義

■多年に亘り國府祭に協力され、伝統文化の継承に寄与された
近藤幸治

■多年に亘り神事奉仕者として献身奉仕された
金子紋彌
皆川米男

■多年に亘り寒川神社青少年教化育成のボーイスカウト活動に献身的に奉仕された
鈴木金三
宮本健司

■多年に亘り寒川神社少年館講師として青少年の教化育成に寄与された
磨田美佐子

■永年に亘り参拝を重ね御神徳の宣揚に寄与された
宮内義一

■多年に亘り㈱青葉準職員として当神社の維持運営に協力された
加々美フギ

■多年に亘り寒川神社の維持運営に協力された
木戸美代子
久保田晶子

顕彰式集合写真

職員年功表彰受彰者14名（敬称略）

■寒川神社権禰宜
小嶋大介……（勤続22年）

■寒川神社権禰宜
犬上亙佑……（勤続10年）

■寒川神社主事
谷澤紗也佳……（勤続10年）

■寒川神社非常勤職員
青木光代……（勤続34年）

■寒川神社非常勤職員
蓮見徳子……（勤続23年）

■寒川病院看護師
根岸浩子……（勤続13年）

■寒川病院看護補助者
角田聡子……（勤続15年）

■寒川病院看護補助者
椎野恵子……（勤続13年）

■寒川病院臨床検査技師
小関恵利子……（勤続32年）

■寒川病院事務員
太田静花……（勤続15年）

■寒川病院非常勤看護師
岡村恵子……（勤続23年）

■寒川病院非常勤看護師
安藤由美子……（勤続13年）

■神恵苑看護師
若松真奈美……（勤続11年）

■神恵苑介護福祉士
冨田薫……（勤続22年）

節分祭 福物協賛者芳名

（順不同・敬称略）

㈱青葉
㈱秋江
㈱阿部
㈲青木商事
秋山商事㈱厚木支店
青山大寿司
㈱市川
㈲飯田材木店
イベント商組合
市川　元久
入澤　一三
エバラ食品工業㈱
㈱オーカワ
大塚　文彦
川本工業㈱県央支店
㈱金子建材土木
㈱関東小池
㈲壁島工務店
金子　昭
㈲カネヤ商会
関東建物㈱
神奈川電設㈱
神奈川東和薬品㈱
㈱北岡本店
㈲協和クリーニング
北村工務店
キリンビバレッジ㈱湘南工場
㈱ギンビス湘南営業所
ギンビス商事㈱
熊澤酒造㈱
㈱晃和ディスプレイ
コムロデンキ寒川
㈱さんこうどう
㈲さがみや
㈲サダコ美容室
さがみや菓舗
㈲寒川建材
寒川神社商工奉賛会
寒川町観光協会
寒川町商工会
寒川ローンテニスクラブ
㈱サンエーサンクス
㈱サンユー
寒川駅前クリニック
㈱三昭運輸
㈲三昭興業
㈱三昭ツーリスト
㈱湘南ビューティブライダル
湘南信用金庫寒川支店
敷島製パン㈱パスコ湘南工場
ジャパンソルト㈱栃木支店
鈴木徽章工芸㈱
鈴信運送㈱
そば処佐賀
綜合警備保障㈱湘南支社
㈱空晴
㈱竹澤古典建築設計事務所
㈲田中写真
髙橋竹材店
㈱竹中工務店横浜支店
㈱竹中工務店寒川神社作業所
大黒屋
露木生花
㈱テック企画
東映無線㈱
東映通信工業㈱
東京あずまネクタイ
戸塚米店
寒川町　内藤
長嶋園
中島　啓介
㈲並木工務店
日本プレス工業㈱
根岸農園
㈲破魔矢奉製所
㈱長谷川製作所
ハタノ木材㈱
原繁酒店
原田総合保険事務所
㈲俵田屋
㈲古山看板塗装
福岡園
豊月堂
㈱丸井紙店
松井建設㈱東京支店
前田　隆一
松本　學
皆川　欽一
三菱電機㈱神奈川支社
㈱湊
落雁　諸江屋
百崎製菓㈱
㈱結商会
横浜貨物綜合㈱
㈱横浜銀行寒川支店
横溝　隆義
ヨシカワ洋品店
㈱横浜銀行茅ヶ崎支店
横山外科胃腸科医院
㈱レンブラントホテル厚木

お詫び

本誌前号（第511号）にて平成29年新嘗祭奉納者芳名の掲載にあたり、当方の手違いにより、左記の方の御芳名が記載されておりませんでしたので、衷心よりお詫び申し上げますと共にここに謹んで訂正致します。

初穂米（一升袋）

相田孝様
青木弥市様
石井明彦様
宇田川良一様
金子幸一様
栗田馨様
栗田隆様
栗田知一様
栗田登様
小菅昭義様
小菅隆志様
萩原けい子様
皆川米男様
谷澤正勝様

利根康教宮司
神職身分特級に昇級

この度、利根宮司には、神職身分「特級」に昇進され、2月9日に神社本庁にて伝達式が行われました。

神社本庁の設立記念日である2月3日に合わせ発表された定例表彰に伴う昇級で、神社本庁表彰規程第2条第2号「人格識見共ニ勝レ多年奉仕神社ノ経営並ニ神徳ノ発揚ニ力ヲイタスト共ニ斯道ノ為ニ貢献スル処多ク功績顕著ナル者」との条件に該当するとして、表彰の栄に浴されました。

利根宮司は、昭和47年に当神社に奉職して以来約45年間に亘り「剋己勤躬」の精神で神明奉仕され、平成21年の宮司就任後は、神池橋の架け替え、参道・内庭の石張工事など、常に崇敬者の目線に立ち、より一層清々しく御参拝頂くための境内整備事業に傾注頂いています。また、平成23年の東日本大震災、平成28年の九州熊本地震の際には、被災した現地の神社に対する支援活動を地震発生当初より始められ、幾度となく被災神社を訪ねては、早期復興を願われ今日に至っています。

斯界では神奈川県神社庁副庁長・神社本庁参与・全国一の宮会副会長など多くの役職を歴任し、これら数多くの功績が認められ、この度の昇級となりました。

神職身分「特級」は、神職にとって最高位の身分で、全国的にもこの身分を有する神職はごくわずかしかいません。

Samukawa-jinja Shrine

権宮司就任のご挨拶

石腰　亮

この度、図らずも本日四月一日付をもちまして、権宮司を拝命致しました。約千六百年の永い歴史を有する寒川神社、その御由緒と営々と奉仕の誠を尽くされてきた先人を思う時、身に余る光栄であり、身の引き締まる思いを致しております。

権宮司拝命につきましては、大神様の御神慮はもとより、宮司様、責任役員・総代をはじめ神社関係者並びに氏子崇敬者の皆様のご指導・ご支援の賜物と深く感謝致しております。素より浅学非才の身、この重責に耐えうるか、恐れております。

私は、縁あって昭和五十二年に当神社に奉職させて頂き、早いもので四十一年が過ぎようとしております。社家の家に生まれましたものの、神明奉仕を使命とする高い意識を持たない私を、当時の瀧本宮司様は温かく迎えてくださり、そして矢田部権宮司様をはじめ職員の皆様は一つ一つ懇切丁寧に身をもってご教導くださいました。誠に有難く、改めて深く感謝申し上げる次第でございます。今後は、このご恩に少しでも報いるべく後進の育成、神社の伝統を継承していくことができればと考えております。

瀧本宮司様は御社殿御造営竣功近い平成八年に勇退され、その後を多田宮司様が引き継がれ、平成の御造営を見事に竣功へと導かれました。平成二十一年よりは、利根宮司様が宮司を引き継がれ、歴代宮司の意を酌み、更なる境内整備を進めると共に、神道の歴史や信仰について深く調べる研究部門として資料館の充実、また昨年の十月には、神道・神社に関する基礎知識を氏子・崇敬者と共に学ぶ「相模塾」も開塾されました。本年は、天皇陛下御即位三十年を記念して、伎楽・雅楽・舞楽を紹介する「東儀秀樹コンサート」が夏に計画されています。神社を通じて少しでも社会に貢献でき得ればという取り組みも鋭意進められております。

この上は、初心に立ち返り、大神様の御加護のもと、宮司様を輔け、真心こめて権宮司の重責を果たし、御祭神の御神徳の宣揚と御社頭の隆昌に微力を尽くして参りたいと存じます。今後とも、皆様方には、何卒倍旧のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、ご挨拶とさせて頂きます。

禰宜就任のご挨拶

西井　義行

この度、宮司様のご推挙を頂き、役員様の承認を得、四月一日付をもちまして神社本庁より寒川神社禰宜を拝命致しました。素より浅学非才で未熟な私にとりましては、この職責は身に余る光栄でありますとともに、その責務の重さを痛感致しております。

伊勢の地に生を受けた私は、昭和五十七年に生まれ育った故郷を離れ、寒川神社に奉職させて頂いて以来三十七年という歳月が過ぎようとしております。この間、大過なく奉職でき得ましたことは、寒川大明神の御加護の下、先々代・瀧本宮司様、先代・多田宮司様そして利根宮司様をはじめ諸先輩方、職員の皆様方のご支援・ご教導の賜物であり深く感謝申し上げるところでございます。

顧みますと、昨年十月に竣功より二十年を迎えた御社殿の御造営事業の折には、造営担当の部署に携わることができました上、遷座祭の御奉仕も叶いましたこと、誠に有難く神職としてこの上ない幸せを感じております。

昨年五月には神社本庁より功労表彰を頂き、十一月には神奈川県神社庁設立七十年記念表彰の栄に浴することができ、恐悦至極に存じます。

今後は、大明神様の御加護を仰ぎ、更なる御神徳の宣揚に微力ながら精励致すとともに、宮司様をお輔け申し上げてまいりたいと存じます。何卒、変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、ご挨拶とさせて頂きます。

平成30年度 宮山総代ご紹介

本年度、宮山総代をご奉仕頂く方々をご紹介致します。
一年間よろしくお願い致します。

総代長	榊原　一男
副総代長	天利　茂雄
中里（上）	根岸　育雄
中里（下）	綱島　一真
中里（河原）	榊原　範匡
中里（サザン）	青木　満
雷	原　光浩
馬場	小泉　直樹
下	井出　勉
根岸（上）	宮川　司
根岸（中）	沢辺　学
根岸（下）	小泉　秀輔
オリーブの丘	今泉　茂
旭（東）	鈴木　高行
旭（西）	杉山　伸
上合	本村　隆寿
宮山南	小堤　二夫

人事

◆**免　職**

〈寒川神社〉
氷川神社権禰宜　兼寒川神社権禰宜　浅原　寛
願いに依り兼職を免ずる
平成三十年三月三十一日
神社本庁

◆**退　職**

〈寒川神社〉
主　事　谷澤紗也佳
願いに依り職を免ずる
平成三十年三月三十一日

〈参集殿〉
参集殿職員　野村　圭織
願いに依り職を免ずる
平成三十年三月五日

〈寒川病院〉
看　護　師　荻原佐百合
看　護　師　渡辺　明奈
願いに依り職を免ずる
平成三十年一月三十一日

看　護　師　増田　和貴
准看護師　北川　葉美
願いに依り職を免ずる
平成三十年三月三十一日

〈神恵苑〉
介護福祉士　藤木　美希
願いに依り職を免ずる
平成三十年二月二十八日

◆**任　命**

〈寒川神社〉
禰　宜　石腰　亮
寒川神社権宮司に任ずる

権　禰　宜　西井　義行
寒川神社禰宜に任ずる

神社本庁録事　小野　俊之
主　典　加藤　芳朗
主　典　植松　敏光
寒川神社権禰宜に任ずる
平成三十年四月一日
神社本庁

◆**昇　進**

〈寒川神社〉
出　仕　石垣　仁薫
出　仕　松岡　拓司
寒川神社主典を命ずる
平成三十年四月一日

◆**採　用**

〈寒川神社〉
角河　礼隆
土岐　頼誉
寒川神社出仕を命ずる

齋藤　桃香
本田　佳奈
樋下　聖華
鈴木　誉子
穐元　麻季

吉田　千弘
山田　紫鶴
堀越　颯妃
岩永　沙綾
寒川神社巫女を命ずる

酒井　五月
田中　李歩
寒川神社録事を命ずる
平成三十年四月一日

〈寒川病院〉
看　護　師　増田　睦美
看　護　師　田村　紀子
看　護　師　徳井　裕美
寒川病院勤務を命ずる
平成三十年三月一日

看　護　師　矢代　実希
看護補助者　高橋　遼
寒川病院勤務を命ずる
平成三十年四月一日

〈神恵苑〉
介護福祉士　伊草栄利子
神恵苑勤務を命ずる
平成三十年四月一日

寒川俳壇

道問へば里人やさし桃の花　飛石　槿花
下萌ゆる稚児（ややこ）の一歩一歩かな　石原美枝子
町医者は話好きなり春の風邪　根岸　君子
鈴ふって春呼ぶ巫女の緋の袴　伊藤　公一
動くとも見えぬ流れや春の鴨　松本美智子
老骨をなぶる二月の向い風　芹澤　徳光
下萌は大地の産毛深呼吸　吉田　和美
一輪車転び上手や草萌ゆる　菅沼うめの
種を蒔く日向ひなたの在所かな　宮入　つる
切られ与三それも愛嬌猫の恋　猿渡　弥生
春障子談笑続く老姉妹　菅沼　保幸
叱ってもすり寄る猫や春浅し　倉谷　節子
桃の花産声をまつ今日明日　露木てる子
路地ふかく動かぬ闇の猫の恋　岩田美代子
山並みや雪山賛歌酒を酌む　原野　楽天
蓮の骨きれいに揃い枯れており　四ツ車梢月

相模詠草

わが庭に冬到来の兆しありドウダンツツジの真っ赤に燃えて　渡邉　唯夫
青空の下で初打ち仲間等と年の差忘れテニス楽しむ　亀山　文子
風なくて八重の山茶花はらはらと庭に散り敷く静かなる音　平澤まさえ
このままに世を終りてもと思うまでこの寒き夜の風呂温かし　吉田　幸子
西空にスーパームーンの輝けり雲一つなく明けきらぬ朝　宮治友美枝
梅の木の下に水仙咲き揃い清しく匂う新年の朝　徳江　道子
初日の出まっかにもえるに手を合わせこの新年に祈りをこめる　土屋トミ子
場の空気なごむならばと少しだけ無理してつくった私の笑顔　稲垣　武子
霜柱踏めば奏でるクラシック吐く息白く靴もなるなり　山口　幸子
歹摩川の流れ楽しむ遊歩道立ちどまりつつゆるゆると行く　山根喜美代
元日の新聞部厚く本紙より広告・宣伝多きに苦笑　安藤　慧
皇紀二千六百年に植えられし楠がみ社の杜をつつめる　宇田川時子
陽だまりの梅のつぼみは白さ増し寒さの中に仄かな温み　岡元　芳子
凛として日本水仙開き初む亡き父母の面影に立つ　杉本　照世

寒川俳壇

年間最優秀句決定

本誌『相模』に四季折々の俳句を献じて頂いております寒川俳壇の年次総会が3月25日に開催され、その席上にて本年度の優秀句が発表されました。

最優秀句には、石原美枝子氏の句が選ばれ、一之宮賞が授与されました。

賞状
石原美枝子殿
寒川俳壇年次総会において最優秀句に選ばれ
その栄誉を称えここに賞状を贈ります
平成三十年三月二十五日
寒川俳壇

一之宮賞
（年間最優秀句）

祭笛
水田百枚
越えて来し

石原美枝子

彬姫櫻開花

昨年12月に植樹されました彬姫櫻が3月13日に開花しました。

まだまだ小さい木ながら、10輪ほどの花をつけ、一足早く春の訪れを告げてくれました。

（彬姫櫻植樹についての詳細は2・3ページに掲載しております）

天皇陛下
御即位30年記念

寒川神社
http://www.samukawajinjya.jp

東儀 秀樹 コンサート

第一部 伎楽・雅楽・舞楽
第二部 現代音楽と雅楽の融合

東儀 秀樹（とうぎ ひでき）

奈良時代より1400年間雅楽を世襲してきた楽家に生まれる。宮中儀式などに出演するほか海外公演にも参加。ピアノやシンセサイザーとともに雅楽の持ち味を生かした独自の曲の創作にも情熱を傾ける。

平成30年8月14日（火） 場所／寒川神社境内特設能舞台
開演時間／午後5時30分（予定）
6月15日より往復ハガキにて申込受付開始
※申込方法は5月1日以降にHP及び社頭配布のチラシでご確認ください。
入場無料

青少年だより

少年館 県民吟道大会 合吟の部優勝

2月11日、伊勢原市民文化会館にて第45回県民吟道大会が開催され、合吟の部に寒川神社少年館から3組が出場し、大人に混じっての出場ながら、うち1組が見事優勝を果たしました。

少年館 卒館式

3月18日に少年館卒館式が挙行され、本年は22名の館生が巣立っていきました。
少年館で学んだことを糧に、さらなる成長をお祈りします。

動静

1月 9日 始業式（少年館）
14日 鏡開き（BVS・CS・BS・VS・RS）
21日 「日本吟心流詩吟初吟会」参加（少年館）

2月 11日 「県民吟道大会」参加（少年館）
18日 親子ふれあいスケート教室（少年館）
25日 スケート教室（BVS・CS）

3月 4日 春の社会見学（少年館）
18日 卒館奉告祭（少年館）
〃 卒館式（少年館）
23日 終業式（少年館）
24～25日 春キャンプ（BVS・CS・BS）
〃 オーバーナイトハイク（VS・RS）

ボーイスカウトまつり開催

5月3日（木・祝）9時～14時
場所：寒川神社境内（馬場）

日用雑貨バザー・野菜・花・もち米販売
★焼きそば他各種模擬店コーナー★
皆さまのご来場をお待ちしてます！

活動紹介・1日体験入隊コーナー開設 ※10時～12時
《申込不要》当日ご自由にお越しください。

◎長年ご愛顧頂きました餅つきは、事情により行いませんのでご了承ください。

病院だより

「新型タバコ」について

寒川病院総合健診センター　センター長 **車田知之**

最近は、街中で新型タバコなどとも呼ばれている「加熱式タバコ」をよく目にします。日本で普及し始めているのは、IQOS（アイコス）、Ploom TECH（プルームテック）、glo（グロー）などの非燃焼・加熱式タバコです。

従来のタバコは、葉に直接火をつけて燃焼させ、煙とともにニコチンを吸引します。先端部分は900度程度になり、副流煙と喫煙者が吐く呼出煙が生じます。これに対し加熱式は、タバコ葉を燃焼させず、暖めるにとどめている点が特徴です。つまり、「葉を燃やす」ことによって生じる「煙」が発生しません。代わりに、「熱する＝蒸す」ことによって「水蒸気」が発生します。煙が発生しない大きな副次的効果は、タバコにあるはずの「タール」と呼ばれる有害物質が出ないということです。タバコに含まれる「タール」とは、葉を燃やすことによって発生するからです。

「人は、ニコチンを求めてタバコを吸い、タールによって死亡する。」これは、40年前、精神科医マイク・ラッセルが説いた見解です。つまり、体に害を及ぼすのはタールであり、ニコチンではないという考えです。この考え方からいくと、「新型タバコは従来の燃焼式タバコより健康リスクが少ない」と思われがちですが、日本呼吸器学会はこの考え方は誤解である、と指摘しています。同学会では、加熱によりエアロゾルを生じさせるときに、ニコチン以外のリキッド成分が複雑な混合物を経て発がん性物質に変わることを指摘しています。また、受動喫煙についても同様で「健康に悪影響がもたらされる」「受動吸引による健康被害が生じる」可能性があることを指摘しています。

新型タバコによってどの程度の健康被害がもたらされるかどうかについては、科学的証拠が得られるまでには、かなりの時間を要し、現時点では実際はどうかわかりません。「たとえ有害物質やリスクが従来のタバコの10分の1であるとしても、健康被害は免れない」ということは忘れないでいただきたいと思います。科学的には従来の燃焼式タバコと同様に健康被害があると考えた方がよさそうです。公共の場所や公共交通機関では、吸わないように、特に呼吸器の弱い方や心臓の悪い方、子供や妊婦の周りでは、決して吸わないように、心がけてください。

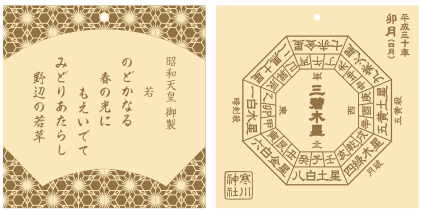
祝祭日には国旗を掲げましょう

奉祝　天皇陛下御即位30年

【題字】
神社本庁 総長　田中恆清

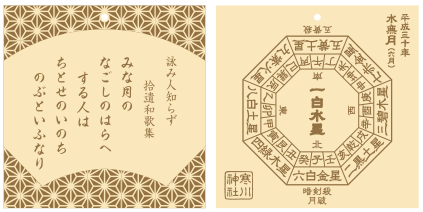
【表紙写真説明】
彬姫櫻植樹後に佐野藤右衛門氏の説明を受けられる彬子女王殿下

『木　札』　月次祭にご参列された方などにお頒けする木札です



卯月「4月」

皐月「5月」



水無月「6月」

第49回　相模薪能のご案内

終戦記念日の8月15日、先の大戦にて尊い命を捧げられた英霊への慰霊と世界の恒久平和への祈りを込めて、相模薪能を開催致します。

〔演目・演者〕
能　逆矛（さかほこ）　観世 喜正 ほか
狂言　樋の酒（ひのさけ）　野村 萬斎 ほか
能　大瓶猩々（たいへいしょうじょう）　中森 貫太 ほか

〔場　所〕寒川神社境内特設能舞台

〔開催日〕平成30年8月15日㈬ 午後5時30分開演予定

申込方法
鑑賞ご希望の方は**往復ハガキ**に住所・氏名・年齢・電話番号を楷書で明記のうえ、左記要項によりお申し込み下さい。

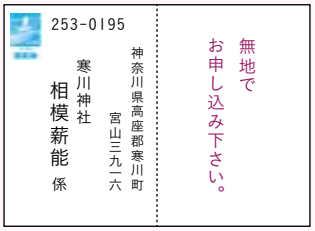
※**7月1日以降の消印**より有効。それより前の消印や記入漏れがある場合は無効となりますのでご注意下さい。

先着千名
（一人一枚限りとし、電話での申し込みは受付けません。また入場者は中学生以上に限ります）

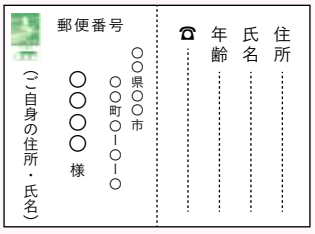
申込先　〒二五三-〇一九五
神奈川県高座郡寒川町宮山三九一六
寒川神社相模薪能係

お問合せ　電話　〇四六七（七五）〇〇〇四

［往信面］



［返信面］



※鑑賞券の転売は固く禁止致します。

編集後記

4月1日。衣替えの時期になりました。「まだまだ寒いのに衣替え？」と思われる方が多いのではないでしょうか。エープリルフールだからといって別に嘘をついているわけではありません。

一般的には6月1日が衣替えですが、古く平安時代には衣替えといえば4月1日でした。

庶民の間では、4月1日に衣の綿を抜く衣替えが行われ、それに由来した「四月一日」と書いて「わたぬき」さんと読む苗字の方が実際にいらっしゃいます。

このような名前が存在することも日本の素晴らしい文化です。

日本人にとっては毎日が特別な日なのかもしれません。

（亙）

次号『相模513号』は
7月1日㈰に発行します

第512号　平成30年4月1日
発行所：寒川神社社務所
〒253-0195 神奈川県高座郡寒川町宮山3916
電　話：0467（75）0004㈹
編集責任者：井上 浩之
印 刷 所：株式会社 さんこうどう
http://www.samukawajinjya.jp

本誌のバックナンバーは当神社HPよりダウンロードできます。